

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月2日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日	備考
1	<p>【5号機圧力抑制室パージ弁の開閉不良について】 当直員が中央操作室にて、5号機圧力抑制室パージ弁の開閉試験において、開状態から閉状態に操作した際、弁の状態を表示するランプが切り替わらないことを確認。 また、当社社員が現場にて、当該弁が動作していないことを確認。 当該弁は不活性ガス系を運転させる際に必要な弁であるが、震災以降、不活性ガス系の機能要求はないため、当該弁が動作しなくても系統に影響はないと判断。 今後、不具合箇所の調査により点検方針を決定する。</p>	G III	3月29日	2021.4.16訂正 正：開状態から閉状態に操作 誤：閉状態から開状態に操作
2	<p>【5号機計算機室空調機(B)空冷コンデンサからの冷媒の微少漏えいについて】 協力企業作業員が、5号機計算機室空調機(B)空冷コンデンサの定例冷媒漏えいを確認した際、閉止ボルト部からカニ泡程度の微少漏えいを確認。 圧縮機冷媒出入口弁の閉操作をしたが、微少漏えいは継続中。 原因は、シール材の劣化と推定。 今後、圧縮機内の冷媒回収後、当該部を修理予定。 現在、5号機計算機室空調機(A)空冷コンデンサが運転中のため換気に支障なし。 また、トラブル等で停止した場合は、速やかにスポットクーラー等で換気を行う。</p>	G III	3月29日	